



プロバスだより

2018年6月14日発行

第271号

<http://www.tokyo-hachioji-probusclub.jp>

東京八王子プロバスクラブ

創立 1995 年 10 月 18 日

2017～18年度 テーマ

継続は力なり！
プロバスクラブの道に終わりなし
生涯現役でクラブライフを楽しもう

編集・発行：情報委員会

臨時総会・例会

日時：平成 30 年 5 月 10 日 (木) 11:30～13:30

場所：八王子エルシィ

出席者：53 名 出席率 85.5%

(会員総数 68 名 休会 6 名 欠席 9 名)

会食とハッピーコイン披露

山口例会委員長の進行で会食に入り、馬場副会長からハッピーコイン 13 件の披露があった。

(4 ページに掲載)

第2回 臨時総会

1. 開会

山口例会委員長

ただいまより本年度第 2 回臨時総会を開催します。

2. 議長選任

司会者一任の声があり、武田会長を議長に選任。

3. 書記 1 名、議事録署名人 2 名選任

議事に入る前に議長から書記に土井俊雄会員、議事録署名人に吉田信夫会員、大澤敬之会員が指名された。

4. 議事

第 1 号議案として 2018～2019 年度役員人事 (案) が馬場副会長から提示され、理事 11 名、会計監査 2 名が原案通り可決承認された。

5. 議長退任

以上で上程議案の審議は終了しました。議長退任。

6. 閉会

第271回例会

1. 開会

山口例会委員長

第 271 回例会を開催します。(資料確認)

2. 会長挨拶

武田会長

本日の臨時総会で次期役員人事が議決され、ここに安心してバトンタッチできることが確定いたしました。ご審議有難うございました。年度末に向け、総会議案書づくり、サロン小冊子発行、各委員会・プロジェクトメンバーの配属、そして顔合わせ会合等々、慌ただしい日々が続くと思われていますが、ご協力よろしくお願いたします。



ご報告があります。当クラブの初代会長として、以来長年にわたりクラブ発展にご尽力いただきました“大野聖二パスト会長”に、今期理事会においてクラブ規則にはございませんが、特例として「名誉会員」として推戴させていただきました。ご本人は、会員として継続在籍のご意思がありますが、体調のこともあり例会参加が思うようにゆかないという事情があります。この点を鑑みての対応であります。

経費削減対策の実施効果が功を奏しているようです。あと 1 か月余りで決算となりますが予算遂行は順調です。

この例会後は生涯学習サロン閉講式とさよならパーティーと続きます。ご来賓、お客様を温かくお迎えくださいますようお願いいたします。特別講話は竹元正美様の皇位継承問題についてホットな話題を

お聞きします。さよならパーティーでは大いに盛り上がりましょう！

3. パースデーカード贈呈

武田会長より池田会員手作りのパースデーカードが5月生まれの会員に贈られました。

写真は左から有泉裕子、永井昌平、橋本鋼二の各会員と武田会長。川村真会員と阿部幸子会員は欠席。



4. 八王子「宇宙の学校」後援会年次報告について

杉山友一後援会長



配布された平成29年度八王子「宇宙の学校」報告書をもとに事業結果、収支決算、会計監査の報告、平成30

年度事業計画、収支予算の説明がありました。

5. 幹事報告

内山幹事

報告事項はありません。事業報告で同好会の今年度の実施状況を載せますので、次の例会までに提出して下さい。



6. 各委員会活動報告

(1) 例会委員会

山口委員長

臨時総会・例会の出席状況の報告があった。(前出)



(2) 情報委員会

田中副委員長

①プロバスだより270号をお手元にお届けしました。今回は八木会員編集になるものです。



②学習サロンの抄録編集については現在順調に進んでおり、あとは本日の閉講式とさよならパーティーの様態をまとめれば良いという段階です。

③山崎光子様より退会の申し出がありました。

(3) 会員委員会

戸田委員長

特になし

(4) 研修委員会

竹元委員長

特になし

(5) 地域奉仕委員会

永井委員長

本日、生涯学習サロンに関するアンケート用紙をお配りしました。本部予算が苦しい中、サロンの経費も削



減せざるを得ません。削減案があれば、是非提案して下さい。また、野外サロンの参加者が少なくなっています。何か良い案があれば提案して下さい。6月の例会までにご提出願います。

(6) 交流担当

特になし

(7) 宇宙の学校



浅川担当理事

下山リーダー

先月は、平成 29 年度の実施レポートを配って、昨年度の報告に代えさせいただきました。今月はこのチラシ、つまり 30 年度の実施日程を配布しました。4

月 25 日に実行委員会を開き確定したものです。連休明けから各学校で配布されて、すでに応募がはじまっています。先月寺田サブリーダーから、お願いしたアンケート、ご協力をいただけるスケジュールのアンケートをぜひ本日中にご提出ください。本日持っていない方は私か寺田が持っていますので、申し出てください。

7. 同好会活動報告

囲碁同好会春季大会

2018 年 5 月 4 日

参加は 9 名、優勝した浅川会員のコメント：何年ぶりかで優勝しました。同じ仲間ならまだまだチャンスがあると思っています。



ゴルフ同好会

2018 年 5 月 6 日

第 11 回多摩地区 3 プロバスクラブ合同ゴルフコンペが 4 月 20 日(金) GMG 八王子にて開催された。当日は快晴で春の日を和やかに楽しんで過ごした。日野 7 名、多摩 3 名、八王子 6 名の計 16 名の参加者であった。以前は 6 組でやっていたが、今回は故障者が多く 4 組となり小規模となった。しかし、各プロバスのメンバーが混成でプレイして一日を過ごすことは、交流と親睦を深めて意義深いものであった。



75 歳以上の方はゴールドティー、他はレギュラーティーというルールを採用したが、ゴールドが 6 名、レギュラーが 9 名であった。成績は八王子プロバスが 7 位までに 4 名が入るという実績を残した。詳細下記。

今回は多摩プロバスが幹事役で、昨年の春・秋の予定が雨天中止となり、3 回連続の企画を担当され、大変お疲れさまでした。次回は 10 月に日野プロバス幹事で予定されている。

優勝	持田律三	八王子	(38, 43, 81, 7.2, 73.8)
準優勝	田中信昭	八王子	(43, 43, 86, 12.0, 74.0)
3 位	川久保康男	多摩	(41, 38, 79, 4.8, 74.2)
4 位	黒澤直明	日野	(42, 41, 83, 8.4, 74.6)
5 位	河合和郎	八王子	(44, 43, 87, 10.8, 76.2)
6 位	矢島一雄	八王子	(43, 43, 86, 9.6, 76.4)
7 位	小島昭治	日野	(40, 46, 86, 9.6, 76.4)

記 持田律三

古典芸能鑑賞同好会

お知らせ：国立劇場で開かれる歌舞伎鑑賞教室の連獅子を 6 月 15 日に見に行きますので、参加希望者は早めに申し込んでください。

8. プロバス賛歌斉唱

9. 閉会



馬場副会長

本日は次年度の役員体制が承認され、「宇宙の学校」も 6 月にスタートします。今期もいよいよ第 4 コーナ

一を回りゴールが見えてきました。締めに向かっての諸活動をよろしくお願ひします。

また本例会後の生涯学習サロンの閉講式もお楽しみください。



◆八王子「宇宙の学校」の実行委員会を行い、平成30年度の計画が決まり募集が始まりました。今年もよろしく。 下山邦夫

◆学習サロン最終日となりました。担当された皆様大変ご苦労様でした。シニアダンディーズも楽しく歌います。 立川富美代

◆今月末にアメリカから娘と孫が帰ってきます。アメリカのトランプ大統領の評判など、いろいろな話が出来そうです。 土井俊玄

◆最近、男の一品料理？にはまっています。ピクルスうまくなりました！！ 武田洋一郎

◆学習サロンも最終日を迎えます。アクシデントもありましたが、皆様のおかげでなんとか今日まで来ました。ありがとうございます。今日一日、無事に終わることを期待しています。 永井昌平

◆80歳になります。後輩が、お祝いにゴルフコンペを開催してくれます。但し、シニアティーから打ってくれと言われたのがちょっと屈辱です。永井昌平

◆父の亡くなった年齢を越えました。身辺整理を続けます。 橋本鋼二

◆皆様ありがとうございました。良き先輩、良き仲間にお会いでき、良き思い出ばかりが残ります。皆様のご健勝、ご活躍、会の発展を祈ります。退会にあたり少々ながら報謝させて下さい。 澤渡 進

◆本日の例会で八王子「宇宙の学校」後援会の年次報告を申し上げます。 杉山友一

◆今日喜寿の誕生日を迎えました。プロバスの皆さんにお祝ひしていただき嬉しく思います。自分祝ひに金子文江直筆の「君が代」の掛け軸を求めました。心和やかに過ごしていこうと思います。 有泉裕子

◆4月26日、野外サロン足利路の旅は絶好の天気恵まれ素晴らしい大藤を見ることができました。皆様のご協力に感謝申し上げます。 飯田富美子

◆今期の「学習サロン」もいよいよ閉講式とさよな

らパーティーを迎えました。お世話して下さいっている皆様方のご努力に心から感謝して。 田中信昭

◆フラダンス同好会、フラレイマクワはこの8月で2年を迎えます。本日生涯学習サロンさよならパーティーで日頃の成果をお披露目します。応援をよろしくお願ひします。 根本照代

◆生涯学習サロン今日のさよならパーティーでハッピーに本年度の幕を閉じます。多くの参加者の皆様やプロバス会員の皆さんのご支援に感謝いたします。

一瀬 明



古典芸能鑑賞同好会四月例会 杉山友一

4月22日、JR千駄ヶ谷駅から国立能楽堂への道のり、歩道を彩る木々の緑を愛でながら午後1時開演の能舞台鑑賞に向かう。今回、同好会内山代表の選曲は観世九臈会（公益財団法人）別会で、能二曲と狂言一曲がメインだが、事前に詳細な資料をご用意頂いた。三曲分のあらすじ、現代語訳、見どころ、詩章、語訳、用語説明と至れり尽くせりである。本日はその事前勉強を経ての鑑賞会である。

さて、番組はまず演者8人の連吟（薪之段）の前座を経て、一番手の能は「戀重荷」（こいのおもに）で1時間強の舞台だ。莊司という高齢の庭の菊守が院の女御に及びもない恋心を抱く。重荷を持って庭を百度、千度と巡れば想いは届くかもなどと弄ばれた挙句に憤死、亡霊に変じて女御の誠のなさを責め立てる。しかし、それでも最後には恨み心を捨てて女御の守り神となることを誓う筋立てだ。道ならぬ恋心、そして憤死、募る怨念、やがて守り神への変身と、屈折した男の心理が地謡の重厚な調べに乗せて丹念に深々と描き出される。話の筋は何とも浪花節的だが、劇場を支配する空気感は俄然凜として観る者の情感、琴線に十二分に触れた。

さて、ここで15分の休憩後、続く舞台は40分間の二人芝居の狂言「空腕」（そらうで）で、空腕とは力もないくせに腕自慢をすることを云い、ご主人様と太郎冠者との滑稽な掛け合いが見どころ聴きどころの出し物だ。狂言は通常二曲の能に挟まる間劇で、滑稽で洒脱な笑劇であり能舞台鑑賞の緊張の中で心

和む一時である。そして次、休憩なしで狂言に続く舞台は空気が一変する。源平合戦の折、藤戸の合戦で殺された地元の漁師の亡霊の仕舞（摺り足が基本の舞）である。地謡の説得力と演舞とのハーモニーが何とも心に沁みてきた。

そして、10 分間の休憩後、いよいよ当日本番は、紀州道成寺に伝わる安珍・清姫伝説に取材した能作品（悲劇の後日談）と解説にあり、能の中でも大曲といわれる「道成寺」だ（所要1時間45分）。物語は長らく廃絶されていた道成寺の鐘楼が再興され鐘の供養が行われることとなるが但し絶対の女人禁制、しかし故あって過去に因縁を抱える白拍子が供養の舞を舞わせて欲しいと入り込む。乱拍子を舞いながら、夜陰に乗じて「この鐘怨めしや」とばかりに鐘の中に飛び入る。鐘が落下し白拍子はその中に消える。辺りは騒然とするが、暫しの紆余曲折を経て後、やがて寺の住職たちの祈りによって鐘は再び吊り上がる。しかし、何と鐘入りした女が蛇体に変じて現れ僧たちに挑みかかるのだ。しかし、それでも最後には僧たちの懸命な祈祷の力に屈して日高川の深淵に消え去っていくというストーリーだ。想い人（実は一人の山伏）を追い続ける女の止む無き執念が籠っている物語である。ときに、この「道成寺」の大曲は、まず狂言方により80キロとも云われる大きな鐘が四間四方の舞台中央奥方に吊り上げられることから始まって、いきなり観客たちの度肝を抜く。そして前半の山場はなんと言ってもこの鐘入りの場面、激しい地唄と囃子の中で舞いは続くが、劇中シテ（主役）と小鼓だけで演じられる乱拍子の見せ場は、何と20分間ほども続く、両者の息遣いだけで間を合わせていく緊張感、その表現力は、感極まるほどに生の能舞台ならではの迫力だ。また、飛び上がりながら落ちてくる鐘の中に消えるシテの演技の集中力には凄みさえ感じてしまう。やがて時を経て、舞台は後半に転じて、鐘は再び吊り上がり蛇体となって現れる女の姿だが、後見の手を借りずに行う鐘の中での面や衣装の付け替え作業の見事さには仰天する。ここも感動的な見せ場だ。総じて大曲「道成寺」は大胆にしてこの上なく繊細な舞台といえる。

能は一見静謐だが内的には極限の激しい気迫が煮えたぎるもの（観世流宗家の言）と表現されるが、舞台上で演じられる人間模様を、想像力をたくましく

して観るところにこそ醍醐味があることに再度得心した次第。前回の文楽とはまた一味も二味も趣を異にして、今日もまた感動的な日曜日の午後であった。内山代表、池田世話人さん、大変お世話になりました。

現代恐竜

志村 高



遙か昔、6500 万年以上でしようか、ジュラ紀、中世紀、白亜紀ころはテノンサウルス、陸の王者プロントサウルスとか巨大な生物が何万年もかけて進化し恐竜天国があったのでしょうか。

しかし、メキシコユカタン半島に幅10km以上もの隕石が落ち恐竜時代も終了したとの事。

過去に超古代文明があったかどうかは知りませんが、巨大物がこの地球上で動き回ったのは、この2回だけだと私は思います。

人類はこの何万年の中、たった200年くらいで恐竜のごとき巨大物をつくりだしてしまいました。

先輩たちは、何千万年もかけて巨大化し恐竜社会を築き上げました。私たちは、たった200年くらいで同等物を発生させてしまいました。

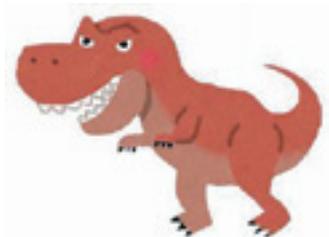
ドイツのニコラウスオットーという人物が4サイクルエンジン（別名オットーマンサイクル）を発明し、そしてそのころの人々マイバッハ、ベンツ、フェラーリ等と発展し、馬車は車に変身しヘンリーフォードのT型フォードにより大衆化しました。そして機械文明は海上、航空の分野のけん引役となりました。人類発生後人間の移動方法がこんなにも変わったのは、初の事です。

石器時代より楽になりました。しかし、反面第1次世界大戦も第2次世界大戦もおこしました。

現代恐竜は、肉食恐竜なのでしょうか？草食恐竜なのでしょうか？

急速発展のあとは何か不気味です。

今後CO₂爆弾か隕石爆弾の落ちないことを祈ります。



二つの人類

橋本鋼二

二つの人類ネアンデルタール人と現代人類のホモ・サピエンスが共に活動していた時代は一万年も続いたらしい。体躯は頑強で脳の体積は現代人類より15%は大きかったというネアンデルタール人が亡びたのは何故なのか興味のあるところだが、最近の研究ではネアンデルタール人の知能が劣っていたからホモ・サピエンスに負けたのではないらしい。

先日のTV番組でこのことを取り上げていたが、家族単位で生活していたネアンデルタール人の石器は進歩せず、集団で暮らしていたホモ・サピエンスの石器は次第に進歩し、さらなる道具を作っていたという。彼らは新知識を共有でき、それがさらなる進歩に連なったという話は納得できる。

アフリカを出た現代人類はヨーロッパでネアンデルタール人と出会い、彼らのDNAを取り込んだことで、我々もネアンデルタール人のDNAを3%前後保有しているらしい。

現代人類が世界中に広がった歴史を探ると、集団行動と未知な世界への好奇心が重要なキーだったと思う。現代人類が日本列島に辿り着いたルートは複数考えられている。南からのルートでは海をどうやって渡ったのか、台湾から与那国島に草船や竹筏舟による実験航海が行われたが、この冒険企画はまだ達成されていない。

会員の活動から “健康フェスタ”の受付応援

毎年の如く今年も健康フェスタの受付応援に会員が参加しました。

(左から佐々木研吾、河合和郎、有泉裕子の各会員)



(撮影 武田洋一郎会長)

俳句同好会便り

私の一句～五月の句会から 河合 和郎

春から夏へ季節が行ったり来たり。ついていけないのは人間ばかりで、季節は変わりなく姿を変える。そこに俳句の材料を見つけることも一興。さて。

滝のごと滴り落ちる藤の花 飯田富美子

4月の野外サロンで訪れた「あしかがフラワーパーク」の大藤の見事さを詠んだ。正に滝の如くに。

黒土に背筋伸ばして葱坊主 立川富美代

今月の兼題は「土」。畑にツンツンと勢ぞろいする葱坊主の様子を上手く詠んだ。中七の表現がいい。

眠りより目覚めし土偶長閑けしや 馬場 征彦

全国各地から発掘される土偶にはおおらかな古代人の息吹きが感じられる。豊かな心と自然の産物。

瘦躯なる卒寿が浸る菖蒲の湯 渋谷 文雄

邪気を祓い、心身を清める菖蒲湯に卒寿翁が身を沈めつつ一句をものにする。次に目指すは白寿なる。

マロニエの花鈴と鳴れ彼のアリア 山形 忠顯

この句は声楽家にして初めてなせる一句。マロニエの花が奏でたらどんな音色が響くのだろうか。

産土の野辺の思い出土筆つむ 東山 榮

故郷は遠くにありて……子供の頃を懐かしみつつ土筆を摘む。忘れ難き心の原風景が甦る。

葉桜や枝垂れ墓石に青き影 矢島 一雄

花が散り、葉桜が青い影を落としている。亡き人を偲ぶ心の影と重なるように。深い祈りの一句。

行く時の袖引き止めて残り花 池田ときえ

行く春を惜しんで「袖引き止めて」の措辞は秀逸。年々歳々人同じからず。再びの花時はありやなしや。

通訳の要らぬ会談夏浅し 田中 信昭

もともと同じ国の人間同士。心が通じ合わぬはずがない。秋の深まる頃にはきっと朗報がと期待大。

この土に生きて八十路や麦を刈る 河合 和郎

産土の地に生涯を送れることは大いなる幸せかもしれない。今年もまた麦刈りの季節が巡ってきた。

編集後記：何年ぶりかで編集に関わり、何気なく読み飛ばしていた「たより」の進歩に驚き、使い慣れぬWORDに四苦八苦しました。

橋本鋼二